

世界を舞台に活躍した日本人ピアニスト、中村紘子さん自らが語る貴重インタビュー番組を放送。

10月 日本を代表するピアニスト 中村紘子さんを偲び追悼放送

【初回放送】 10月2日(日)21:00~22:00 他

日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル「クラシカ・ジャパン」(株式会社 東北新社 東京都港区赤坂4-8-10/代表取締役社長 植村徹)は、7月26日に72歳で惜しまれつつこの世を去った、中村紘子さんに哀悼の意を表し、10月2日(日)21:00~22:00にドキュメンタリー番組『時代の響き ピアニスト 中村紘子』を放送します。

早くから天才少女として注目され、第7回ショパンコンクールでは歴代日本人2人目となる入賞、そして最年少者賞を受賞。世界を舞台に活躍する日本を代表するピアニストとして、生涯、世界中のクラシック音楽ファンを魅了し続けた中村紘子さん。

番組では、中村さん自らがピアニストとしての栄光と苦悩の日々をありのままに語るインタビューを、録音・練習風景など貴重な舞台裏の映像も交えてお届けします。中村さんのピアニストとしての生き様を切り取った番組です。是非、ご覧下さい。



©尾形正茂

【中村紘子】

1944年生まれ。3歳で、桐朋学園音楽科の前身である『子供の為の音楽教室』第一回生として井口愛子氏に師事。10歳でレオニード・コハンスキー氏に学び、早くから天才少女として注目を集めると、慶応義塾中等部3年在学中、第28回音楽コンクールで史上最年少で第1位特賞を受賞。翌年、NHK交響楽団初の世界一周公演のソリストに抜擢され華やかにデビューを飾った。その後、ジュリアード音楽院で日本人初の全額奨学金を獲得。第7回ショパン・コンクールで日本人初の入賞と併せて最年少者賞を受賞。以後、国内外3800回を超える演奏会を通じ世界中の聴衆を魅了し続けた。ピアニストだけでなく、チャイコフスキー・コンクールなど数多くの国際コンクール審査員を歴任。その体験に基づく最初の著書『チャイコフスキー・コンクール ~ピアニストが聴く現代~』で、第20回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。国内外の若手ピアニストの育成にも努め、15年間に渡り審査員長を務めた浜松国際ピアノコンクールでは多くの秀英ピアニストを世に送り出し、同ピアノコンクールを世界的権威のあるものに育成した。その長年の活動に対し、日本芸術院賞・恩賜賞、紫綬褒章など国内外で数多くの賞を受賞。

『時代の響き ピアニスト 中村紘子』 <放送日時> 10月2日(日)21:00~22:00 他

“私、ほんとうに受験生みたいな。いつもね、泡食って猛練習してるわけ。” —番組内インタビューより

<番組内容>

2016年7月26日、72歳の誕生日を迎えた翌日、大腸がんのために死去した日本を代表するピアニスト、中村紘子さん。この番組は、大変珍しい自宅でのインタビュー映像を中心に、彼女の人間と音楽を追った2008年制作の貴重なドキュメンタリーです。

早くからピアノの天才少女として名高く、さまざまな音楽コンクールの最年少記録を塗り替えてきた中村さんは、1965年第7回ショパン国際ピアノ・コンクールで日本人初の4位入賞、併せて最年少者賞を受賞。以後、「中村紘子」の名は日本のピアニストの代名詞となり、その演奏は国内外にわたり多くの聴衆を魅了し続けてきました。数多くの国際コンクールの審査員も歴任し、その体験に基づく最初の著書『チャイコフスキー・コンクール ~ピアニストが聴く現代~』(中央公論社刊)は文明論としても高く評価され、第20回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞するなど文筆家としても活躍し、クラシックの枠を越えて幅広く親しまれました。

天才少女としての華々しい活躍、重圧と中傷と戦い続けた日々、そんな中で訪れた転機とは…。番組では、中村さんご本人の口からピアニストとしての栄光と知られざる葛藤の日々が率直に語られます。レコーディングやリハーサル、マスタークラスの中村さんなど貴重な映像も満載。その姿から、強烈なプロ意識の一方で、女性らしい細やかな気遣いと周囲に向けるあたたかな視線が印象的。戦後日本のクラシック音楽界を牽引した中村紘子さんの、素顔を垣間見ることができる番組です。

[出演]中村紘子[語り]ブラザートム[制作]2008年

【クラシカ・ジャパン】ドイツで誕生した世界初のクラシック音楽専門チャンネル“CLASSICA”の日本版で、1998年に開局した日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル。話題のコンサートからオペラ、バレエ、ドキュメンタリーまで、毎月100タイトル以上の音楽番組を放送中。クラシック音楽の名曲を、ホールの臨場感とともに毎日24時間お楽しみいただけます。スカパー！プレミアムサービス(637ch)、スカパー！プレミアムサービス光(637ch)、全国のケーブルテレビ局、ブロードバンドTVでご覧頂けます。

■視聴に関するお問い合わせ先■

クラシカ・ジャパン <http://www.classica-jp.com> カスタマーセンターTEL:045-330-2178 (受付時間:平日9:30~18:30 ※土日・祝日除く)

■本リリースに関するお問い合わせ先■

(株)東北新社デジタルメディア事業部 編成企画部 プロモーション 担当: 林[m-hayashi@tfc.co.jp]
〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10 TEL:03-5414-0305 FAX:03-5414-0433